二重価格表示ガイドライン

1. 二重価格表示の基本

二重価格表示とは、値下げ前と値下げ後の価格を併記して表示することです。例えば、「通常 10000 円のコースが本日に限り 7000 円」、「クーポンご持参の方に限り 20%オフ」といった表示を言います。これはお客様に安さを感じさせることを目的としています。しかし、比較する値下げ前価格が適正に表示されていない場合、お客様に実際よりも安いなどの誤認を与え、不当表示に該当するおそれがあります。このような行為

は、お客様の信頼を裏切ることとなり、法律に違反する行為ですの で、絶対に行わないようにしてください。

二重価格表示を行うためには、次の2つの条件を満たす必要があります。

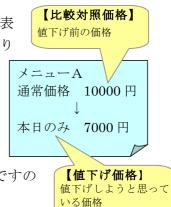
- ①比較対照とする商品は、同一のものであること。
- ②比較対照価格が明確であり、かつ一定期間以上販売していること。
- (1) 比較対照とする商品は「同一」のものであること

「同一性」は、銘柄、品質、規格、販売方法、販売条件等からみて同一とみられるか否か で判断されます。

- ・当該メニューに使用されている食材や、質、量が同じでなければ比較することはできません。例えば、1万円のコースを7,000円で提供すると表示した場合、コースの品数はもちろん、使用する食材の種類、質、量が同じでなければなりません。
- ・ある一つの商品の新品と中古品、汚れ物、キズ物、旧型又は旧式の物とは、同一 の商品ではありません。
- ・野菜、鮮魚等の生鮮食料品については、一般的には、商品の同一性を判断することが難しいと考えられます。このため、生鮮食料品を対象とする二重価格表示については、全く同一の商品の価格を一定時間だけ値下げするようなタイムセールのように、商品の同一性が明らかな場合のみ表現できます。
- (2) 比較対照価格が明確であり、かつ一定期間以上販売していること
- ●比較対照価格が明確か否かは、以下の条件で判断されます。
- ① 自店で過去に一定期間販売していた事実がある。
- ② メニュー等によって一般に公表されている。
- ●「一定期間」とは、【条件1】または【条件2】のいずれかの条件をすべて満たすこと が必要です。

【条件1】以下の3つのすべての条件を満たす場合

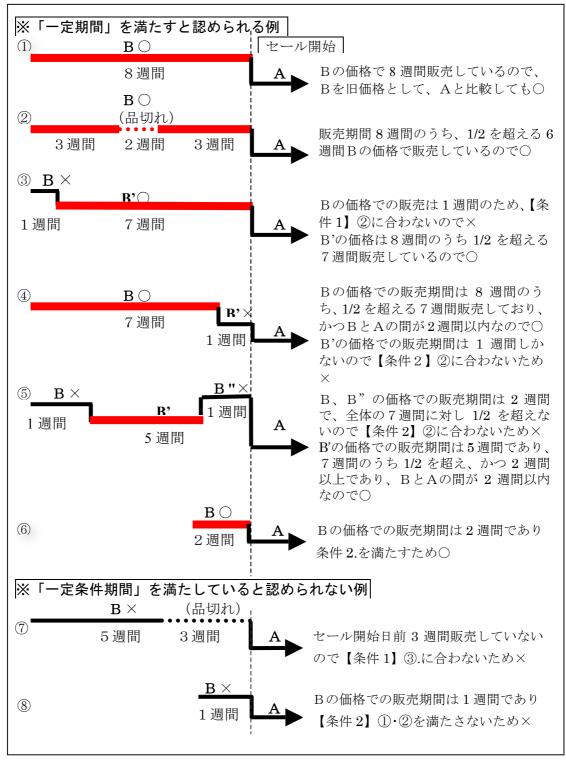
- ① 値下げする前の8週間同一商品が販売されていたこと
- ② 比較対照価格での販売期間が過半(半分以上)を占めること
- ③ 値下げして販売しようとする日が、比較対照価格で販売していた最終日から 2 週間以内であること



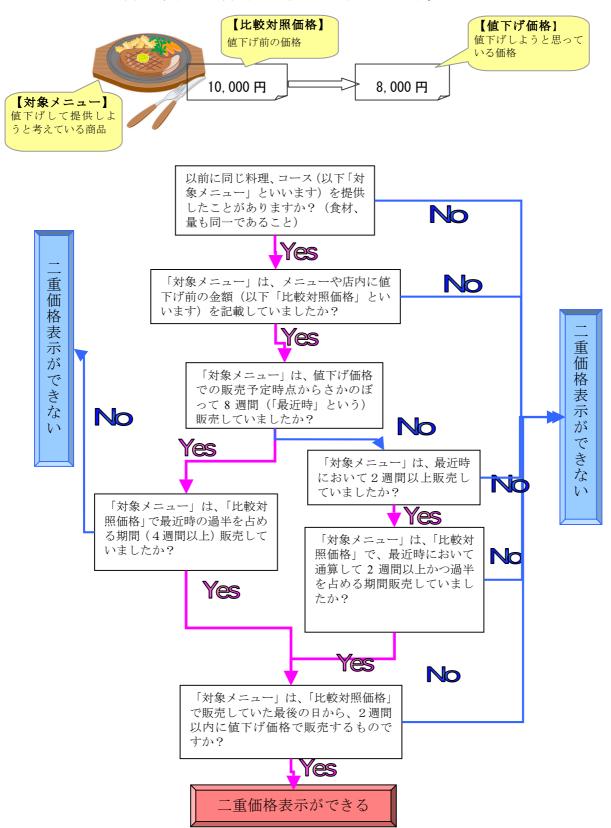
【条件2】以下の3つのすべての条件を満たす場合

- ① 同一商品が販売されていた期間が2週間以上8週間未満であること
- ② 比較対照価格での販売期間が通算して少なくとも2週間あり、かつ過半を占めるものであること
- ③ 値下げして販売しようとする日が、比較対照価格で販売していた最終日から 2 週間以内であること

2.「一定期間」を満たす場合と満たさない場合の例



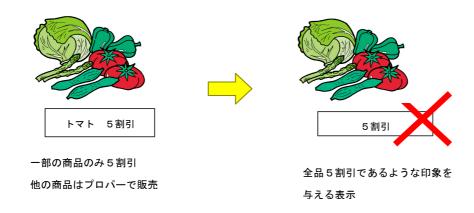
3. これらの条件を、流れで確認すると以下のようになります。



(2) 割引率・割引額の表示

- 二重価格表示と類似した方法として、割引率 (○○%0FF など) や割引額 (○○円引きなど) を用いる表示があります。
- これらの算出根拠となる価格も、「(1)二重価格の基本」と同じ考え方になります。
- ●以下のような表示方法は、お客様に誤解を与える「曖昧な表示」として、不当表示に該当する場合があります。
 - ・割引対象が一部の商品に限定されているにも拘らず、その旨を明示しないで一括して「○割引」と表示すること

例:実際には一部の商品のみが割引対象となるにも拘らず、単に「5割引」 とのみ表示すること



・割引率に幅がある表示をする場合(「○○%~○○%0FF」など)、最大割引率が 適用されるのは一部の商品に限定されているにも拘らず、一番割安なものを強 調して表示し、多くの商品が最大割引率であるかのような印象を与えること

例: 実際には酒の一部の商品のみが最大割引率となるにも拘らず「酒類: 20 ~70%0FF」と表示して 70%を強調することにより、多くの商品が 70% 0FF であるかの印象を与えている表示



詳細なルールは消費者庁にご確認ください。

http://www.caa.go.jp/representation/pdf/100121premiums_35.pdf 参照